

ちよこっとワークショップ体験「彦根の魅力」

公園について考える前に、ちよこっとワークショップ体験として、「彦根の魅力」についてみなさんにお聞きしました。たくさんの彦根の魅力を考えてもらいました。

■歴史

- ・歴史の町、歴史がある。(3)
- ・幕末の歴史
- ・国宝彦根城(4)
- ・彦根城などの建築、歴史
- ・彦根城を中心とした、昔ながらの町並み
- ・佐和山城跡



■びわ湖

- ・びわ湖(5)
- ・びわ湖のイベントや風景
- ・湖側に夕日、山側に朝日が見える
- ・水鳥
- ・島



■自然

- ・四季にめぐまれた地域、気候が豊か。
- ・とても四季を感じやすい。
- ・サクラ(2 芹川など)
- ・自然が素晴らしい。春は桜、秋は紅葉、夏は緑葉(1)
- ・自然が多い。(みどりが多い)
- ・程よい田舎
- ・農村
- ・夜が涼しい



■スポーツ

- ・観光とスポーツが組み合わせられる可能性がある。
- ・スポーツ施設が併設されている。
- ・スポーツのまち

■住みやすい、まちが良い

- ・近畿と東海の間にある
- ・程よく施設がある(栄えている)
- ・まちの空気感が良い
- ・住みやすい(3)
- ・町並み
- ・銀座商店街
- ・災害が少ない



■交通

- ・交通の拠点
- ・交通の便が良い。新幹線が近い。高速道路が近い。JR駅が近い。

■人

- ・人が良い
- ・真面目な人が多い
- ・子どもが多い



■大学

- ・大学が多い(2)
- ・学生が多い(2)

■名物

- ・カロム
- ・ひこにゃん(3)
- ・花火
- ・ラーメン
- ・鮎
- ・ひこね丼



※ () 内は同様の意見の数

参加者の感想 (抜粋)

- ・楽しかった。夢があってよい。汗をかいて良いものをつくりたい。
- ・多数の意見が出て、今後の参考になると思う。
- ・みんなで楽しくお話できて良かった。公園スペースが思っていたより小さかった。
- ・利用されている方がもっと多いと良いかな。

- ・“彦根らしさ”のあるものをつくっていきけるように。
- ・若い方の幅広い意見が聞けて有意義でした。
- ・他分野の方々とお話できて良かったです。
- ・実際に現在利用されている方々の声は「なるほど!」と感じました。
- ・意見をしっかりと反映してもらいたい。市民、県民の意見の場として重要視してください。

ワークショップに関するお問い合わせ先 滋賀県 県民生活部 スポーツ課 担当：大橋・長坂・北川
住所：〒520-8577 大津市京町四丁目1番1号
TEL：077-528-3363 Fax：077-528-4832
E-mail：kokutai@pref.shiga.lg.jp

(仮称)彦根総合運動公園整備事業 みんなで考える公園づくり ワークショップ ニュース 1

7月を迎え、木々の緑もより深くなってきました。

滋賀県では平成36年に開催される第79回国民体育大会と第24回全国障害者スポーツ大会のメイン会場となる「(仮称)彦根総合運動公園」の整備計画づくりに取り組んでいます。

より良い公園づくりに向けて、みなさまのアイデア、ご意見をお聞かせいただき、全3回の予定でワークショップを開催しています。

6月18日に、第1回ワークショップを開催し、公園整備の再整備に向けた基本計画を説明した後、新しい公園の使い方について参加者のみなさまで考えました。

平成28年7月 滋賀県



●ワークショップとは
みんなでワイワイと
アイデアや意見を出し
合い、より良い公園
づくりを考えます。

ワークショップの様子と内容をニュースにまとめました!



第1回ワークショップの様子

日時：6月18日(土) 10:00~12:00
場所：県立彦根総合運動場内 スイミングセンター大会議室



17名の参加がありました



再整備に向けた基本計画の説明がありました



ワークショップ体験として彦根の魅力を考えてみました



各グループで考えたことを発表し全体で共有しました



グループに分かれて新しい公園の使い方について考えました



自己紹介をしました

ワークショップの予定



第1回
「新しい公園でこんなことができればいいな」
6月18日(土)

清

第2回
「イメージをふくらませよう」
7月23日(土)

第3回
「こんな公園づくりをめざそう!」
8月27日(土)

気になる結果は次ページから!

新しい公園で **こんなことが** **できたらいいな**

スポーツを楽しむ

- バドミントン、グラウンドゴルフ、フットサルなど、いろいろなスポーツをする。
- スポーツ施設を充実する。また、芝生や土など平らな自由に使えるグラウンドをつくる。
→芝生は養生期間は使えないなど、利用頻度が下がるため人工芝や土が良い。
- 競技場を一般利用する。
- ナイター設備を設置し、夜もスポーツをする。

スポーツ好きの県民のポテンシャルアップ

幼児、子ども、大人の使い分けも必要

災害時の避難地となる

- 災害時の避難場所として使える。(防災ベンチやあすまや、屋内避難施設など災害時に使用できる機能がある)

アクセスを良くする

- 彦根城からのアクセス道路が不便。改善が必要。



1班の検討の様子



3班の検討の様子

日常的に楽しむ

- いろいろな人がさまざまに楽しむ。
- 休日を公園で過ごす。 **ヨーロッパ的に**
- 芝生広場でピクニックをする。
- バーベキューをする。
- おにぎりを食べる。
- 部活帰りにくつろぐ。 **学生が立ち寄る**
- 水遊びをする。
- ボール遊びをする。
- 緑の広場で遊具で遊ぶ。(遊具を充実する)
- 散歩やウォーキングをする。(園路を楽しくして、距離表示をつける)
- 国体終了後は市民が安く使える競技場にする。
- 公園は囲わないでオープンにする。

イベントを開催する

- 出店やマルシェ、大規模な朝市などを開催する。
- お城まつりとゆかたまつりを一緒に開催する。
- 親子向けのイベントをする。
- 広場で小学校区のイベントをする。
- 花火観覧席を設けて、花火を見る。
- 運動以外の公園らしいイベントをする。
- サッカーなどのスポーツ教室をする。
- 彦根市民の体育祭や学生+市民の運動会を開催する。(いろんな世代でいっしょに！地域の力、仲間意識を向上する)
- 防災訓練をする。

市外の人にも使ってもらう

- 公園を観光ルートに含み、観光客も彦根市民も楽しめるようにする。
- 水辺周遊コースの一部にする。
- 琵琶湖サイクリングロードに取り込む。(公園で休憩する)
- 日本遺産に「琵琶湖とその水辺景観」が認定されている。水辺景観は売りになる。(昔の堀をイメージして整備する)
- ひこにゃん。城などの資産を活かす。
- リピーターをつくる。
- 世界一の目玉となるものをつくる。

宿泊する

- 宿泊施設をつくって、合宿、マリンスポーツの拠点に。(今は長浜ドームに取られている)鳥人間コンテストで来る人も使える。
- 温泉を掘る。足湯をつくる。
- いろいろな人が集まれる場所をつくる。(集会施設、会議室)

彦根城・金亀公園と一体で広々と

- 彦根城、金亀公園と一体的にする。(公園的なところを広くする)
- 公園内の各エリアが分断されないようにする。 **彦根城とセットで利用**
- 駐車場を地下にすれば、広々と使えて、景観的にも良いのでは。

四季、自然を感じる

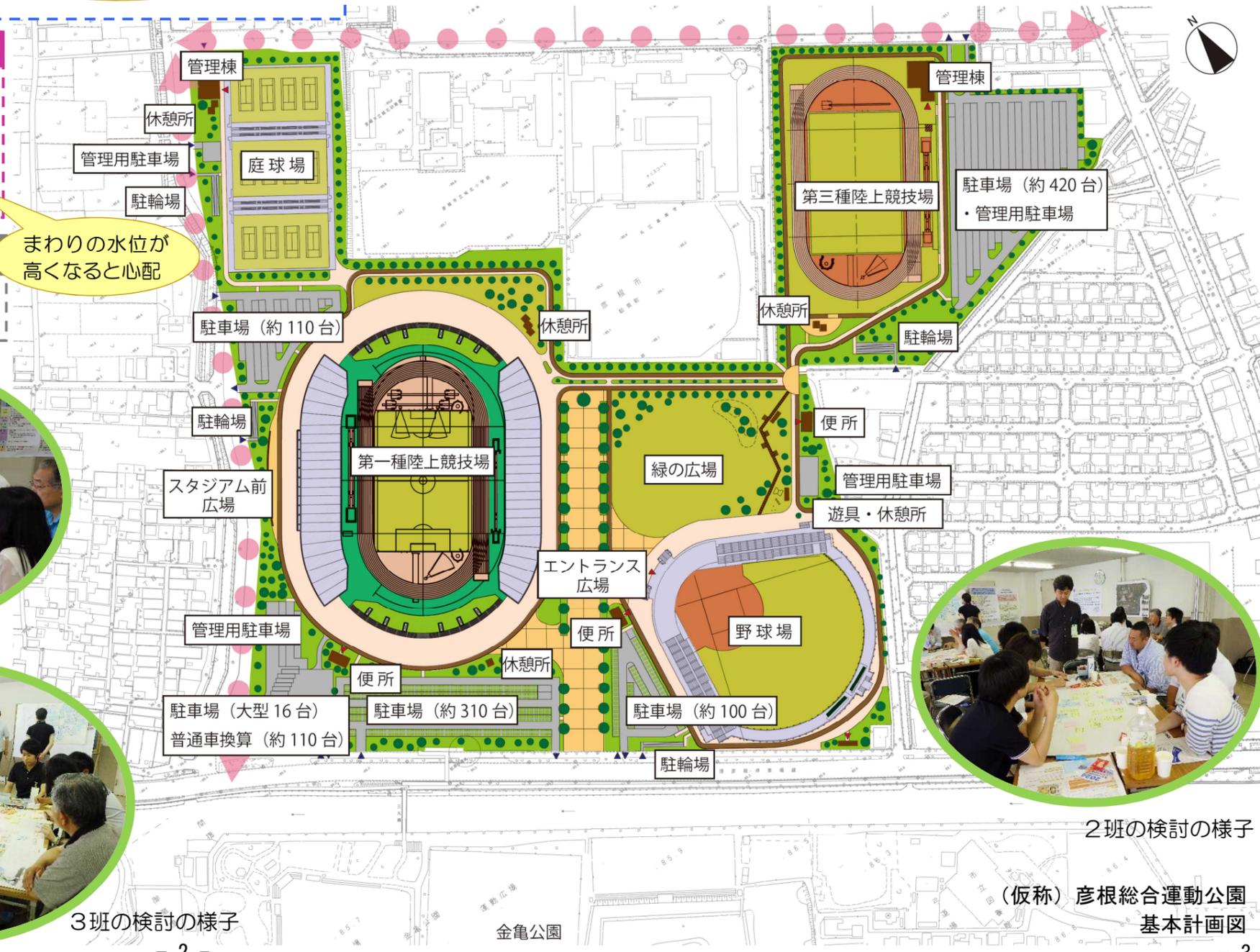
- サクラ、モミジで四季を感じる。
- 藤棚で休む。
- 木々に囲まれた休憩所
- 木陰でひと休みする。
- 緑の湖になるようにする。
- 芝生の場所をつくる。
- 彦根城、伊吹山の雪化粧がキレイ。活かせないか。



彦根はサクラ!

彦根らしい良い景観にする

- 建物は彦根城などとの調和を考える。(和と洋の融合、木材等自然素材の利用など)
- エントランス広場には高木を複数列植える。(お城への軸を合わせる)
- アスファルトはあまり使わないでほしい。



2班の検討の様子

(仮称)彦根総合運動公園 基本計画図